

市議会だより おおだ

No. 71

2023（令和5）年4月20日発行

表紙の写真
仁摩健康公園の桜並木（塩谷裕志委員長撮影）
～春らんまん～

❁ 令和5年度当初予算	2
❁ 一般質問に12人	7
❁ 常任委員会・特別委員会報告	13
❁ おでかけトーク開催報告	16

賛成多数

可決

「子どもたちの笑顔があふれ、みんなが夢を抱けるまち‘おおだ’」
の実現に向け、**当初予算決まる**

(対前年度比2.8%減)



**サテライトオフィス等
開設支援事業 5,700万円**

企業誘致及び創業環境の向上を図るため、民間主体の市外企業向けサテライトオフィス等の設置を支援し、入居・利用を促進



現在の子育て支援センター(あゆみ保育園内)

**こども家庭総合支援拠点
施設整備事業 1,836万円**

全ての妊婦・子育て世帯がいつでも安心して相談できる支援体制を構築するため、認定こども園・子育て支援センター・保健センター等を集約した「総合支援拠点」の整備に向けた基本計画を策定

**R5当初予算
特徴的な取り組み**



LED化が予定されている大田市民球場

**大田市公共施設照明
LED化事業 1億2,575万円**

CO2の排出量抑制、電気使用料及び維持管理費の軽減、公共施設利用者の利用環境・快適性向上を図るため、照明設備のLED化を行う



大田市人権センター(仮称)の建設予定地

**隣保館新築整備事業
6,598万円**

地域社会全体における福祉向上や人権啓発の住民交流のための拠点施設である、大田市隣保館の別地建て替えに向けた用地取得及び基本設計を行う

3月定例市議会

令和5年2月27日(月)
～3月17日(金)

令和5年度

一般会計
当初予算

225.3億円

第2次大田市総合計画 施策体系からピックアップ

★ 産業づくり〈多様で活力ある「産業」をつくる〉

あなごブランド化 推進事業	195万円	「大田の大あなご」のブランド価値の向上を図るための個体の成分分析、飲食イベントやあなご料理提供店舗と連携したスタンプラリー等を実施する
持続的生産 強化対策事業	5,911 万円	産地の収益力強化と担い手の経営発展のため、産地・担い手の発展状況に応じて必要な農業用機械・施設の導入を支援する

★ 豊かな心づくり〈ふるさとを愛する「豊かな心」をつくる〉

校務支援システム 導入事業	5,900 万円	教職員の業務負担を軽減し、教育の質の向上を図る観点から、浜田教育事務所管内3市3町の共同により校務支援システムを導入する
------------------	-------------	--

★ 暮らしづくり〈だれもが住みよい「暮らし」をつくる〉

総合的な 人口減少対策事業	824万円	人口減少に歯止めをかけ、より効果的に対策事業を講じるため、本市における少子化の要因について調査・分析を行う
------------------	-------	---

★ 都市基盤づくり〈くらしや交流を支える「都市基盤」をつくる〉

大田市駅東側 まちづくり事業	1億 4,200万円	JR大田市駅を中心に都市構造の再編を図るため、土地区画整理事業の実施に併せ、駅通り等の整備を行う
高齢者講習施設 新規整備事業	1億 8,672万円	大田自動車学校閉校に伴い、市内で運転免許高齢者講習が受講できない状況にあるため、新たに講習施設を整備するための建設工事を行う

★ 持続可能なまちづくり〈協働・共創により「持続可能なまち」をつくる〉

庁舎整備事業	4,330万円	老朽化が進む市役所本庁舎について、今後の庁舎整備に向けた基本計画の策定、民間活力導入の可能性を探るための調査を行う
公共施設 再編事業	1,000万円	令和5年度をもって産業振興施設としての役割を終える、サンレディー大田を他施設と機能統合し、複合施設として再整備するための実施設計を行う

3月定例会で審議された その他の内容

令和4年度補正予算

【賛成多数・原案可決】

▼令和4年度一般会計補正予算
(第9・10号合計)

1億 916万円

《主な内容》

・医療・介護・保育施設等物価高騰対策応援金支給事業

2536万円

原油価格・物価高騰の影響により費用負担が増大している医療・介護・保育施設等を運営する事業者等に対し、応援金を支給

・新型コロナウイルス感染症対策事業

1056万円

災害時の分散避難を想定した資器材や市庁舎等で活用する消耗品、救急活動等における感染防止対策を維持するための消耗品を整備



新設条例

【全会一致・原案可決】

▼大田市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例制定

地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴い、市長等の損害賠償責任の見直しを行うこととし、新たに条例を制定するもの

人事案件

【同意】

▼教育委員会委員の任命につき同意を求めると

現委員である福岡信隆氏の任期が本年3月31日満了のため、景山浩充氏（鳥井町）を新たに任命することについて同意を求めたものです。任期は4年です。

【異議なく同意】

▼人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めると

現委員である新治弘念氏、大草一憲氏の任期が本年6月30日満了のため、同氏を再任することについて意見を求めたものです。任期は3年です。

皆さんからの請願・陳情

【不採択】

▼マイナンバーカード取得の任意性を尊重する請願

(請願者)

大田市長久町在住

熱田幸隆

【継続審査(総務教育委員会付託)】

▼国に「消費税インボイス制度の実施中止を求める」請願

(請願者)

大田農業で元気なるつう会

会長 川村 孝信

特別委員会の設置

●議会活性化検討特別委員会(8名)

◆設置の目的

市民への「開かれた議会」並びに持続可能な議会体制のあり方に関する検討

◎石田 洋治 ○塩谷 裕志

月森 和弘 森山 幸太

根宜 和之 和田 章一郎

宮脇 康郎 伊藤 康浩

(◎委員長 ○副委員長)

議会を傍聴してみませんか

次の定例会の予定は6月です。市議会を身近に感じる良い機会です。

◇傍聴席は定員34人です

傍聴は、市政に関する状況や方針、地域の課題なども取り上げられる一般質問がおススメです。

地域や職場のグループで勉強会はいかがですか。授業の一環での見学もお待ちしています。

団体での傍聴は、事前に議会事務局までご連絡ください。

お問い合わせ先：大田市議会事務局
(TEL：0854-83-8137)



▲傍聴席から見た本会議場
臨場感あふれるやりとりを見ることができる

◇3月定例会提出議案等賛否一覧表

議案名	議員名等	議決結果	賛成	反対等	塩谷裕志	伊藤康浩	柿田賢次	清水好	宮脇康郎	和田章一郎	亀谷優子	根宜和之	森山幸太	胡摩田弘孝	小川和也	石田洋治	松村信之	河村賢治	月森和弘	石橋秀利	清水勝	小林太
■市長提出議案																						
議案第84号 令和4年度大田市一般会計補正予算(第9号)		可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第85号 令和5年度大田市一般会計予算		可決	15:2		○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第86号 令和5年度大田市国民健康保険事業特別会計予算		可決	15:2		○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第87号 令和5年度大田市国民健康保険診療所事業特別会計予算		可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第88号 令和5年度大田市後期高齢者医療事業特別会計予算		可決	15:2		○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第89号 令和5年度大田市介護保険事業特別会計予算		可決	15:2		○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第90号 令和5年度大田市生活排水処理事業特別会計予算		可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第91号 令和5年度大田市簡易給水施設事業特別会計予算		可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第92号 令和5年度大田市農業集落排水事業特別会計予算		可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第93号 令和5年度大田市大田市駅周辺土地区画整理事業特別会計予算		可決	15:2		○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第94号 令和5年度大田市水道事業会計予算		可決	15:2		○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第95号 令和5年度大田市下水道事業会計予算		可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第96号 令和5年度大田市病院事業会計予算		可決	15:2		○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第97号 令和4年度大田市一般会計補正予算(第10号)		可決	15:2		○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第98号 令和4年度大田市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)		可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第99号 令和4年度大田市国民健康保険診療所事業特別会計補正予算(第2号)		可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第100号 令和4年度大田市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第3号)		可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第101号 令和4年度大田市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)		可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第102号 令和4年度大田市生活排水処理事業特別会計補正予算(第2号)		可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第103号 令和4年度大田市大田市駅周辺土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)		可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第104号 令和4年度大田市水道事業会計補正予算(第2号)		可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第105号 令和4年度大田市下水道事業会計補正予算(第2号)		可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第106号 令和4年度大田市病院事業会計補正予算(第5号)		可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第107号 大田市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例制定について		可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第108号 大田市小規模集会所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について		可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第109号 大田市長、副市長及び教育長の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について		可決	15:2		○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第110号 大田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について		可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第111号 大田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について		可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議案名	議員名等	議決結果	賛成	反対等	塩谷裕志	伊藤康浩	柿田賢次	清水好	宮脇康郎	和田章一郎	亀谷優子	根宜和之	森山幸太	胡摩田弘孝	小川和也	石田洋治	松村信之	河村賢治	月森和弘	石橋秀利	清水勝	小林太	
議案第112号 大田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について		可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第113号 大田市子ども・子育て支援推進会議条例の一部を改正する条例制定について		可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第114号 大田市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について		可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第115号 大田市手数料条例の一部を改正する条例制定について		可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第116号 大田市体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について		可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第117号 大田市農業構造改善センター及び農村広場の設置及び管理に関する条例及び大田市遊漁対策管理所の設置及び管理に関する条例を廃止する条例制定について		可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第118号 令和4年度大田市駅前周辺東側土地区画整理事業大正西線東側工事請負変更契約の締結について		可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第119号 令和4年度大田市駅前周辺東側土地区画整理事業大正西一南側工事請負変更契約の締結について		可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第120号 市道路線の変更について		可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第122号 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて		同意	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第123号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて		異議なし	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第124号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて		異議なし	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
■議員提出議案																							
議案第121号 大田市議会議員の議員報酬及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例制定について		可決	15:2	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第125号 大田市議会会議規則の一部を改正する規則制定について		可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第126号 特別委員会の設置について		可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
■請願・陳情																							
請願第1号 マイナンバーカード取得の任意性を尊重する請願		不採択	5:12	●	●	○	●	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	—
請願第2号 国に「消費税インボイス制度の実施中止を求める」請願		継続審査		議会閉会中の継続審査（総務教育委員会付託）																			

※定数18名、うち議長（小林 太）は採決に加わりません
 ※○は賛成、●は反対等（反対、継続審査、態度保留等々）

全員協議会の議題

議案の審査または議会の運営に関し協議・調整をおこないます。

1月16日

- 新庁舎における議場等のあり方

2月27日

- 令和4年度3月補正予算(案)の概要
- 大田市新庁舎整備基本構想(案)
- おおだ子育てにかかる総合支援拠点施設整備基本構想
- 大田市人権センター(仮称)の機能及び規模
- サンレディー大田の建物利用

3月6日

- 令和5年度大田市重点要望の結果
- 使用料及び手数料の見直し(素案)
- 大田市下水道基本構想の変更等

いっぱん質問

市政に対する一般質問は、3月2日、3日に行われ、12人の議員が執行部の考えをたしました。

質問と答弁の要旨は次のとおりです。掲載する質問事項は1人1議題とし、その他の質問項目があった場合は、質問項目のみを掲載しています。(内容は、ホームページ(<http://www.city.oda.lg.jp/>)で閲覧できます。)



▲祝 開校150周年 全校児童が集結！大きな人文字が完成しました (3月1日 大田小学校)

答弁 平成30年3月に策定した大田市公共施設適正化計画の推進体制の整備計画に基づき、サンレディー大田の用途廃止については令和3年4月に方針決定し、これまで幾度

質問 廃止の理由付けが、金がないと言っただけなら分らぬ話でもないが、分庁舎が危険だからとか、大田まちセン、災害用備蓄倉庫となっている旧消防庁舎が浸水想定区域だから等の理屈付けとその経費に25億円もかけるのはあまりにも説得性を欠く。それだけでなくも衰退の影に覆いかぶされそうな大田にあって、文化芸術の拠点の一つの灯を消すのは、一層闇を大きくするだけの愚策であり、再考すべきである。

サンレディーは 廃止すべきではない

ふれあいホールの活用は困難

和田章一郎 議員



も利用者の方々に対し説明会、意見交換会を実施してきたところである。

また、三瓶川の最新の洪水浸水想定区域が令和2年3月に大田市ハザードマップに反映されたことにより、大田まちづくりセンターを含む大田市民センターは、洪水時の指定緊急避難場所から現在では外されており、サンレディー大田に移転することとしたものである。ふれあいホールについては、設備の大部分が耐用年数を超過しているため、利用者に安心して利用を続けていただける状況にはなく、設備の改修や入替へにも多額の費用がかかることが見込まれる。

現在の設備の状況や市の財政状況、他の類似施設の状況等を総合的に勘案すると、コンベンションホールとしての活用は困難である。



▲サンレディー大田

公共施設適正化計画の 進捗状況は

施設管理課との連携により
推進に取り組んでいく

かきだ けんじ 議員
柿田 賢次



では、全407施設、約26万平方メートルのうち40施設、約1万2,300平方メートルについて完了しており、47%の進捗率となっている。

令和4年度からの第2期間の進捗状況については、令和4年8月の調査時点で5施設、約1,800平方メートル、0.69%増加し、完了施設が45施設、約1万4,000平方メートル、5.42%の進捗率となっている。

第1期間で9%としていた目標進捗率には到達していない状況であり、今後も施設所管課との連携や利用者及び関係者との協議を積極的にを行い、公共施設適正化計画の推進に取り組んでいく。

柿田議員その他の質問項目

・大田市文化振興会館（仁摩町大國）の照明及び大田総合体育館の空調設備について



答弁

大田市が保有する公共施設407施設を対象に、2016年から2045年の30年を5期間に分けて、公共施設の総延床面積30%以上削減を計画されている。第1期間では耐震性のない施設、役割を終えた施設約100施設について整理する目的であると言われたがその実績・検証はどうか。また、現在の2期目の進捗状況を伺う。

大田市においては将来的な財政負担の軽減を図るため、平成30年3月に大田市公共施設適正化計画を策定し、公共施設の効率的、効果的な配置と維持管理に取り組んでいるところである。

令和3年度までの第1期間におい

サイン計画への取り組みと シビックプライド醸成の 効果は

サインの設置は完了予定
認知度も向上の傾向にある

ねぎ かすゆき 議員
根宜 和之



であり、総事業費は1億775万8,000円の見込みとなっている。また、シビックプライドの醸成は日本遺産事業を通じた地域活性化のための重要な柱であると捉え、認知度について調査したところ、わずかであるが向上しており、大屋町や波根町では地域が主体となった活動が継続されている。引き続き市民の認知度向上に努めるとともに、地域の資源が改めて注目されるきっかけとなり、大田市全体の地域活性化につながるよう取り組んでいきたい。

これまでのサイン計画の取り組み状況や、主な事業成果と事業費、シビックプライド醸成の効果を伺う。

答弁

令和3年度策定の大田市日本遺産サイン整備計画により、案内標識、案内看板等、ユニバーサルデザインに配慮し、色彩、フォント等のデザインを決定している。今年度、構成文化財10か所に誘導サインの設置を進め、3月末には工事完了の予定



▶立神岩（波根町）説明板が設置され、内容が確認できる
シビックプライドとは…

市民一人一人が主体性を持って地域（へ）りに参加する

社会的弱者への支援を

必要に応じた支援を進める

しみず まさる
清水 勝 議員



困窮世帯や、住民税非課税世帯などに
対し、生活困窮者自立支援金、価格高
騰緊急支援給付金等の支給を行って
いる。引き続き国や県と連携した対応
に努める。

質問 コロナ感染と異常な物価
高は生活困窮者等の暮らし
を直撃している。次の2点について
伺う。

①「衣・食・住」に苦慮している社会
的弱者に対し、生活者目線を備え
た身近な支援策を求める。また、プ
レミアム付商品券事業は財力機動
力が少ない方には恩恵が低かった。
委託費・準備費1500万円は反省
を求め、第2弾を考へるべき

②公共住宅数は県内8市で一番少
ない。住宅困窮者に入居時の利便
性を高めたり、職員用公共住宅(宿
舎)の空き部屋の利活用策を講じ
られたい。

答弁 ①新型コロナウイルス感染症
の影響が長期化する中、生活

プレミアム付商品券発行事業は、
想定を上回り、販売からわずか三日
間で完売した。足を運んだのに買え
なかった皆様には申し訳ないと感じ
ており、今後は手法や必要経費につ
いても施策に生かしていきたい。

②低所得世帯向けの公営住宅、中堅
所得層向けの特定公共賃貸住宅、公
営住宅法によらない一般市営住宅、
若者や子育て世代向けの公社賃貸住
宅があるが、住宅困窮者への住宅数
はおおむね充足していると認識して
いる。

職員用公共住宅の空き部屋につい
ては、その用途に利用される見込み
が全くない場合には施設の所管替え
をし、有効活用を図っている。今後
も入居需要や施設の状態に応じ、検
討、対応する。

2030国スポ、全スポ 市民との一体的な 取り組みが必要

2030年の国民スポーツ大会は
大田市のスポーツ振興のチャンス

いとう やすひろ
伊藤 康浩 議員



ている。弓道については、地元競技団
体の大田市弓道連盟とも情報共有を
図りたい。

②弓道が大田高校、空手道と銃剣道が
総合体育館を競技会場の候補としてい
る。令和6年度に中央競技団体の視察
が予定されており、早急に会場整備や
運営方法などを盛り込んだ当市の計画
が必要となる。課題としては、宿泊施
設・駐車場スタッフの確保などが挙げ
られる。今後、各競技団体や県と検討
を重ね取り組みたい。

③子供たちのスポーツ活動の参加はこ
れから重点的に取り組むべき事柄と捉
えており、国際大会等で活躍した選手
の高い技術や精神に触れるため、トッ
プアスリート招致事業を行っている。

また、2月7日には日本体育大学と
体育スポーツ振興に関する協定を締
結し、少年スポーツの推進、指導力の向
上など、5項目の取り組みを確認した。
国民スポーツ大会の開催をチャンスと
捉え、市民の体力向上とスポーツ人口
の底上げを図りたい。

質問

2030年に島根県で開
催される第84回国民スポー
ツ大会、第29回全国障がい者スポー
ツ大会、通称国スポ、全スポについ
て大田市では弓道、空手道、銃剣道
の3競技の実施が発表されたこと
るだが、今後の方針及び準備につい
て伺う。

①大田市に協会もなく競技者も少
ない空手道、銃剣道の開催に向けた
準備と課題

②開催施設の整備や宿泊施設等の
準備及び課題

③スポーツ振興及び体力向上につ
いて

答弁

①島根県の弓道連盟、空手道
連盟、銃剣道連盟の事務局と
連携して準備を進めることを確認し

森林資源の活用で 雇用の確保、 人口減の抑制に

原木の安定的・効率的供給が
一層求められている

ごま だひろたか
胡摩田弘孝 議員



者への還元を増やし、再造林を確実に
行い、循環型林業を実現する必要がある。
就業者の確保・定着が喫緊の課題
となっており、雇用条件や労働環境改
善が求められている。

質問 大田市の総面積の約8割
が森林で、その中には今後
数十年間は安定して利用可能な豊
富な森林があり、地域資源を生か
した事業を進めることが、地域の活
性化や新たな雇用の確保、人口減
少社会の抑制にも繋がると思われ
る。森林資源活用の内容や成果、課
題や今後の方向性について伺う。

答弁 林業においては、原木の安定
的な供給に向けて、路網整備
や強化、高性能林業機械の導入を支援
してきた。その結果、原木生産量は、平
成29年度の1万5,000立方メートル
に対し、令和3年度には約1.6倍の
2万4,700立方メートルと伸びて
いる。林業の収益拡大に向けて、流通
を含めた低コスト化により森林所有

者への還元を増やし、再造林を確実に
行い、循環型林業を実現する必要がある。
就業者の確保・定着が喫緊の課題
となっており、雇用条件や労働環境改
善が求められている。



▲木材伐採機械 プロセッサ導入

米国の住宅需要の拡大と新型コロ
ナに端を発したウッドショックによ
り、国産材の需要が高まり、原木の安
定的・効率的供給が一層求められてい
る。現在、木材市場では週1回の市が
開催されているが、取扱量の増加に
伴い、必要に応じ貯木スペースの拡張
を検討する必要がある。当市におい
ては、人工乾燥による製品出荷が伸
び悩んでお
り、国、県
と協力して
乾燥施設
整備を支援
し、製品の
高品質化、
競争力拡大
に取り組み
たい。

高齢者等への ゴミ出し対策を

個別事例を把握し、
支援を継続する

おがわ かすや
小川 和也 議員



質問 現在、大田市の高齢化率
は40.88%である。今後さら
に上がることが予想されるとも
に、高齢者のみの世帯が増加するこ
とも懸念される。全国的にも問題
視され、環境省は令和3年3月に
「高齢者のゴミ出し支援制度導入
の手引き」を作成した。今後、大田
市でも高齢者・障がい者等のゴミ出
し対策を検討すべきと考える。ま
た、ゴミの減量化等についても一層
の取り組みの強化が求められる。以
下3点の質問をする。

- ① 今後の大田市の高齢者・障がい者
等への具体的な対策。
- ② 一般ゴミ収集業務の民間委託。
- ③ ゴミの減量化の取り組み。

答弁 ① 高齢化や核家族化の進展に
より、ゴミ出しが困難となる
ケースがあるが、現状では親族等の支
援により対応いただいている。これま
でも関係部署と情報共有しながら視
覚障がいのある方への支援策を講じて
おり、今後も継続したいと考えてい
る。

② 大田可燃物中間処理施設について
は、収集業務職員の高齢化や就労希
望者の減少という現状もあることか
ら、安定的運営を行う上では、民間委
託も選択肢の一つと考えているが、現
時点では、費用の面から見ても直営が
望ましい。

③ コンポスト等の購入補助による生ゴ
ミの減量化や紙ゴミを出す際、ひもを
使わず紙袋に入れて出せるよう出し
方を簡略化した。燃やせるごみについ
ては、減少傾向で、前年度比1.26ト
ンの減量となっている。

加速する人口減少 具体的施策は

大田市の魅力を発信し、総合的な
人口減少対策事業に着手する

まつむら のぶゆき
松村 信之 議員



支えているが、移住者を歓迎する環境が重要である。
②これまで、地域おこし協力隊員が6名、山村留学の卒業生が2名、I-T関連事業で家族を含め6名が定住している。

質問 人口減少問題は最重要課題である。以下3点について伺う。

- ①定住・移住をしようとする人にとって望まれる地域環境や生活環境はどの様なものかと思われるか
- ②定住・移住の現状
- ③施政方針で掲げられている「総合的な人口減少対策事業」は、具体的にどの様に展開されるのか

答弁

①当市への移住者に話を伺うと、人口密度が低く豊かな自然に魅力を感じ移住を決めた、このことである。核家族化が進む都市部では、共働きをしながらの子育ては難しく、子育て世帯は仕事と子育ての両立を求めて地方に移住する。地方は人間関係が濃く、地域で子どもや高齢者を

③少子化が進行している要因を探るため、国勢調査や人口動態など様々な統計データの分析を行うとともに、市内の18才から45才までの方へアンケートを実施したい。15名の有識者で組織する検討委員会を立ち上げ、統計の分析データやアンケート結果を踏まえ、令和6年度以降、具体的な事業に取り組みたい。



▲大田市への定住を考えている人を支援する定住総合サイト「どがどが」

学校施設 安全で快適な トイレ整備を

学校再編に併せ
整備について検討する

いしだ ようじ
石田 洋治 議員



このうち洋式トイレの割合は約3割となっている。現在学校再編の考え方の見直し作業を行っており、まずは学校全体の将来的な配置を固めた後に、具体的な施設整備のスケジュールを立てたいと考えている。

質問

インクルーシブ(全ての子どもに対する最適な教育環境)が進められる学校施設において、多目的トイレの整備は不可欠である。また、災害対策機能の強化の一環として市内小中学校のトイレの整備が必要と考えるが、所見を伺う。

- ①市内小中学校のトイレの洋式化の現状と今後の計画
- ②多目的トイレ、温水洗浄便座付トイレの整備
- ③災害時の避難場所としての学校施設の多目的トイレ、温水洗浄便座付トイレの設置促進

答弁

①学校施設内の便器は市内全体で小学校に500基、中学校に204基、合わせて704基であり、

②多目的トイレは、小学校では16校中7校に、中学校は全てに設置をしている。温水洗浄便座付トイレの具体的な整備計画はないが、児童生徒が安全・安心に過ごせる教育環境を整えるとともに、可能な範囲において新たな生活様式に対応できる整備に努めたい。
③避難所においては多目的トイレがない施設については、椅子型のトイレをはじめ、誰でも使用でき、一定のスペースが確保できる仮設テント付トイレを備蓄品として整備している。学校施設については、今後の学校再編に併せ、教育委員会をはじめ関係課と協議をしながら検討していく。

石田議員その他の質問項目

・健康づくりと介護ボランティア活動

市民の合意のない サンレディー大田廃止は やめるべき

産業振興施設としての機能廃止

かめたに 亀谷 優子 議員



民間に移管した施設が15施設、複合化した施設が2施設、必要な規模に建て替えした施設が17施設で、総床面積約1万4,000平方メートル、進捗率は5.42%である。

② 未実施である362施設のうち、現在使われずに空いている施設は42施設、約2万6,700平方メートルで、全体に占める面積割合は10.27%である。内訳として、廃止の方針施設が34施設、民間や地域移管方針としている施設が6施設、今後協議を進める施設が2施設である。

③ 現在の施設の利用状況や、施設設備の劣化の状況、近隣の公共施設の状況、市の財政状況等を総合的に勘案し、産業振興施設としての機能は令和6年3月末で廃止をする方針としている。

利用者の皆様には、今後も活動が継続的にできるよう建物の後利用や支援について協議を重ね、できるだけ多くの方々にご理解いただけるよう努めて行く。

質問

大田市公共施設適正化計画では、市が保有する公共施設を2045年度までに30%以上削減するという目標が掲げられているが、以下3点について伺う。

① これまでに削減した件数、床面積
② 現在使われていない施設や空いている部分の件数、その割合は公共施設全体のうちどれくらいか

③ サンレディー大田の機能を令和5年度で廃止する方針に対し、反対意見や疑問が噴出してきている。市民の合意が得られない方針はやめるべきではないか。

答弁

① 令和4年8月に実施した評価軸検討状況調査により、全407施設のうち、完了が45施設。内訳として、用途廃止が11施設、地域や

新型コロナウイルス感染症の 5類への引き下げに伴う 対策・問題点は

今後も、感染予防対策を実施
感染症指定医療機関の役割を担う

みやわき やすろう
宮脇 康郎 議員



者3,681人、集団感染54件、第8波(10/11～2/20)で感染者5,524人、集団感染73件が発生した。

集団感染の内訳(第6～8波)は、高齢・障がい者施設で52件、児童福祉施設で36件、学校・児童クラブで23件、事業所で13件、医療機関で12件、その他で7件である。

市立病院では8月下旬に複数の職員の感染及び濃厚接触者が確認され8/19～9/4までは新たな入院の受け入れ制限をしたが、それ以降は、診療入院などの制限はしていない。

5類への移行後は、引き続き、感染予防対策の啓発、並びに重症化リスクの高い高齢者や基礎疾患をお持ちの方へのワクチン接種を含め、感染予防対策を実施していく。併せて、市立病院では引き続き感染者の診察や入院の受け入れなどの「感染症指定医療機関」としての役割を果たしていく。

質問

政府は、新型コロナウイルス感染症の位置づけを5月の連休明けから、現在の2類から5類へ変更する。季節性インフルと同じ扱いとなり、公的支援も縮小され行政の役割も情報提供などに限られる。新型コロナウイルスは季節性インフルよりはるかに感染力が高く、後遺症の発症や死亡者も際立っており、今後とも市民の命と健康を守る施策の強化が求められる。

答弁

これまでの市内及び市立病院の感染状況と対策、並びに5類への移行に伴う問題点について伺う。

県央保健所管内の感染状況は、第6波(昨年4/1～6/15)で感染者844人、集団感染16件、第7波(6/16～10/10)で感染

猿被害対策 取り組み状況は

防護対策・捕獲活動を実施継続

しみず 清水 好 議員



質問

大田市全域、とくに高山地区において猿の大群に地域が脅かされており、近年は群れも大きくなっている。次の3点について伺う。

- ①猿の頭数や増加率は1年でどれくらいになるのか。
- ②令和2年度に鳥獣被害防止計画を策定されたが、この計画を知らない住民も多いように思う。広報等での周知が足りないのではないのか。
- ③現在どのような防護や捕獲体制をとっているのか。

答弁

①二ホンザルの頭数は、正確な数を把握することは困難であり、一説では5,000頭以上になっていると言われている。増加率は、自然な状態では3年に1頭産む程度であ

るが、餌の豊富な地域では1年に1頭産むペースもあり、個体数は増加傾向にあると考えられる。
②被害防護柵設置補助事業における令和3年度までの実績は、広域防護柵の設置延長と、市単独の防護設置延長、合わせて26万406メートルとなっている。捕獲計画は、令和2年度80頭、令和3、4年がそれぞれ180頭としている。鳥獣被害防止計画については、市のホームページに掲載し広報に努めている。
③地域の農業者82団体499名と、実施隊員83名が共同で捕獲活動を実施している。
令和5年度には新たに12人の実施隊員が増員予定であり、95名の体制で継続して実施していく。



▲増える二ホンザル

常任委員会視察報告

総務教育委員会

日時：令和5年1月19～20日

視察事項

- ・岡山県笠岡市（笠岡市における定住促進の取り組み）
- ・広島県世羅町（廃校後の校舎活用）

総務教育委員長

胡摩田 弘孝

岡山県笠岡市

市のPR部門の戦略・分析・策定について外部人材を公募し、タイムリーな情報発信をしている。ZOOMを活用したオンラインイベントやVR空間内でのトークイベントの開催、令和3年度からはVRによる空き家案内も導入。成果として、累計185メディアに掲載されフォロワー数は10倍、ふるさと納税寄付件数も増加し、空き家についてもこれまで売買契



約が大幅にアップした。
VRによる空き家内覧の導入は、遠方からでも閲覧可能、家財処分費用の見積もり時間の短縮や、経費の削減につながっている。
また、笠岡市は出生数が減少しているが、外国人の人口は増加。空き家バンク事業は成約件数、登録件数ともに県内トップとなっている。
広島県世羅町
廃止小学校の後利用について「知恵の学び舎・世羅の宿ひがし」を視察。
小学校の統廃合により廃校となる東小学校を自治センター、宿泊施設、緊急避難場所の複合施設として再生。自治センター部分は東自治会が指定管理者となり運営する一方、宿泊施設「世羅の宿ひがし」については自主事業とし、改築後に特別会計で運営を開始。宿泊の誘致については児童生徒のスポーツ・文化の団体合宿に力を入れ、年間約2300人（内宿泊610人）、近年は仕出しにも力を入れているが、コロナ禍で宿泊数が激減しており大変苦慮されていた。



▲廃校後も宿泊可能な複合施設として活用

民生委員会

日時：令和5年1月23～24日

視察事項

- ・ 山口県周南市（しゅうなんス・マートライフチャレンジ）
- ・ 山口県光市（「おっばい都市宣言」による子育ての推進）

民生委員長

森山 幸太

山口県周南市

市民が健康で楽しい毎日を送るため、いつでも、どこでも、だれでも気軽に取り組める6つのチャレンジを提案している。

- ① 1歳未満の子供は母乳で育てる（3色食品群がそろった、栄養バランスがよい朝ごはんをよく噛んで食べる）
- ② サンサンチャレンジ（3か月で3kg痩せることを目指す）
- ③ チャレンジウォーキング（健幸アプリをダウンロードして、歩数をアプリに記録）
- ④ はみがきチャレンジ（市内の園児を対象に、歯みがきやしっかりと噛んで味わって食べる）
- ⑤ 歩こう！階段チャレンジ（階段の利用促進及びその必要性や効果を啓発するため、事業所や団体の施設の階段等にポスターを掲示する）
- ⑥ いきいき100歳チャレンジ（65歳以上を対象に、グループ向けの体操を行う）

以上のチャレンジを地域・企業・関係団体等と連携して進めることで、市民の健康寿命の延伸を目指すとともに、個人の健康を支援する環境の強化を図っている。

山口県光市

光市の「おっばい都市宣言」は、「おっばい（胸）でしっかりと子どもを抱きしめ、愛しむ、愛情豊かなふれあいの子育て」を、お母さんお父さんだけではなく、地域のみならず、応援していくというものである。

昭和51年から母乳栄養の重要性について着目し、母子保健活動の重点目標として掲げ、母乳栄養率の高い地域として注目を集めるようになった。このことは、栄養法や子ども

の年齢



▲「おっばい都市宣言のまち」イメージキャラクター「きゅっど」



にかかわらず、胸でしっかりと子どもを抱きしめ愛しむふれあいの子育て「おっばい育児」の推進へと広がっていった。おっばい育児の推進は、基本理念として「みつめ・だしめ・かたりあう」をモチーフに、支援・育成・応援を柱として取り組まれている。また、年1回子育てイベント「おっばいまつり」を開催している。

産業建設委員会

日時：令和4年11月15～16日

視察事項

- ・ 広島県尾道市（NPO法人による空き家再生の取り組み・活用）
- ・ 広島県神石高原町（ドローンの社会実装と活用推進への取り組みと神石高原町ドローンコンソーシアム）

産業建設委員長

根宜 和之

広島県尾道市

尾道市では、空き家率の高さが以前より問題となっており、早期から空き家バンク制度が創設された。現在はNPO法人「尾道空き家再生プロジェクト」と市が連携し、空き家情報の提供と有効活用を積極的に進

めている。NPO法人が融資を受け改修を行い、カフェやゲストハウスなどに活用。資金面などから、現在は出来るだけ賃貸で活用する方針である。千光寺公園周辺は、傾斜地であるの乗り入れが出来ない路地の多い街並みであるが、空き家を活用したカフェや雑貨店、ギャラリーなど、多種多様な店舗ができ、さらに若い世代の移住があることであった。

空き家活用の推進には、移住者を受け入れ易い雰囲気があること、その土地ならではの景観や街並みを見直すこと、行政とNPOとの役割分担を明確にしていることなどが良い影響を与えていると考えられる。



▲再生物件の説明を受ける委員

広島県神石高原町

神石高原町では、ドローンを活用しながら「いつまでも安心して暮らせるまちづくり」事業に取り組み、そのためにドローンコンソーシアムを設置している。このコンソーシアムは、自治体だけでなく地元の油木協働支援センター、ドローン技術を持つ企業や大学

が参画し構成され、産官学民で社会実装に取り組んでいた。

緊急事態に行政職員がドローンを活用することが難しかった経緯から、民間のドローン操縦の担い手を育成。また、大型多目的施設である神石コスモドームを活用。ドローンを使った地域内起業などの企業立地を実現した。2年目以降もドローン活用研究会の設立や、土木部門においては重量物搬送実証実験を行っていた。3年目には国県の3年間継続事業費として1800万円の財源を得て、まち全体を実証実験フィールドとして、実証実験などを行っている。今年度はドローン関連の企業誘致活動なども進められていた。ドローンの活用には解消しなければならぬ課題がまだあるものの、将来的には広い分野での活用が見込まれると予想できる。



▲実機でドローン活用を体験

産業建設委員会その他のごき

・2月7日

山陰道建設現場及び大田市駅前周辺東側土地区画整理事業現地視察

行革・公共施設調査検討 特別委員長 中間報告



まつむら のぶゆき 委員長
松村 信之

1月12日、2月15日に開催。

新庁舎の議場のあり方

1月18日、小林議長に対し、本会議場は議場専用とすること、議場と傍聴席はバリアフリーを検討することなど、審議結果を報告した。

大田市人権センター（仮称）の機能及び規模

整備内容は、

ユニバーサルデザインを取り入れた平屋建ての建物。駐車場から玄関までの屋根の設置やトイレ、そしてサンレディー大田との行き来については、今後検討する。

研修室は誰でも利用可能か。

研修室を可動式にし、200人規模の研修室の設置を想定。人権研修に

参加して頂ければ利用可能である。

サンレディー大田の建物利用

ふれあいホールが利用できなくなることで、利用者の皆さんは今後の活動場所に不安があるのでは。

市民会館大ホール、中ホール、あすてらす、中央図書館の視聴覚室等を利用していただきたい。利用料の支援も検討したい。

大田市新庁舎整備基本構想（案）

建設場所等について

建設地として「大田市駅前周辺東側土地区画整理事業地内」を選定した。詳細な位置は基本計画により詰めていく。

建物について。民間との複合化や資材高騰の影響は、

サウンディング型市場調査を実施し、民間事業者の活力導入の可能性を探りたい。また、物価高騰などの影響により建設単価が上昇すると想定しており、基本計画において精査したい。

おおだ子育てにかかる総合支援拠点施設整備基本構想（案）

なぜ大田市駅東側に建設するのか。保育園は直営で運営してほしい。

現地建て替えも検討したがスペース的に厳しい。保育園は民間施設

設より直営が一つあってほしいとの意見もある。民間での受け入れが難しい場合もあるので、そのフォローを公立が担いたい。

仁摩・温泉津の保健センターの今後について

仁摩は耐用年数が経過していないため、違う用途での利用の可能性もあると思っている。また温泉津も同様に違う用途での活用も考えられる。

使用料及び手数料の見直しの方 向性

減免の対象範囲を真にやむを得ないものに限定するところがあるが、どのような範囲にするのか。

利用者負担の原則や公平性の観点から、誰からみても必要と考える範囲、必要最小限の減免を検討する。

冷暖房費や電気代について。実際にかかった料金を徴収するべきである。

冷暖房費は各施設の規模や使い方により変わってくる。実際にかかった料金を徴収すると、料金設定が難しい。わかりやすい使用料設定の観点から、原則、冷暖房費を含めた施設使用料を考えたい。



2/5に開催しました!

おでかけトーク

参加いただきありがとうございました

今回のテーマは3会場とも『まちづくり』。意見交換では、大田市にもっと良くなってほしい、変えたいという意見や思いがどんどん出され、どうしたら魅力ある、住みよいまちとなるのか、まちづくりの現在・課題・未来を共有できる有意義な時間となりました。今回の意見を参考に、市議会活動・議員活動に取り組んでまいります。

今後も議会報告会の開催方法を含め、市民の皆さんと意見交換する場や、市議会を知ってもらえる場を引き続き考えていきます。とりあげてほしいテーマなど、ご意見がございましたら市役所議会事務局までお寄せください。

大田会場(10名)

- ・若者の意見を市政に取り入れ、子育て世代への支援策を
- ・中山間地の交通対策が必要
- ・データやニーズを分析した情報発信をするべき
- ・まちづくりの原点は地域が考え、地域の協力のもと行政が進めるべき



長久会場(16名)

- ・地域で若者が育ち、安心して暮らし、誇りをもって継承していけることが大切
- ・生きがいの場所が必要。予算不足ということだけでは衰退する
- ・既存のものを大事に
- ・市内のバス、小型化でこまめに運行してはどうか



仁摩会場(14名)

- ・空き家が増加しているが、何かできないか
- ・大田市への定住で返済額を下げるなど奨学金の制度の充実を
- ・保育料や給食費の補てんなど、子育てがしやすいまちづくりを
- ・地域のまちづくりにおける人材不足、リーダーになり手がいない



編集後記

二月に開催された「おでかけトーク」、私が担当した会場は、四、五十代の参加者が多く、多岐にわたり活発な意見の交流がありました。

参加者の皆さんのそれぞれの地域の生の声を聞き、「まちづくり」の示唆を受けたり共感をしたり、私の視野を広げる場となりました。

自由な意見の交流の場は、今後重要と思います。議会ではタブレット端末器が全議員に貸与され、三月議会から各常任委員会で、ペーパーレス文書共有システム「サイドブックス」の活用が始まりました。

六月議会からいよいよ本格導入されますが、パソコンに不慣れな私は、現在習得に一生懸命です。

(宮脇康郎)

広報広聴委員

- 委員長 塩谷 裕志
- 副委員長 亀谷 優子
- 委員 石田 洋治
- 委員 胡摩田 弘孝
- 委員 宮脇 康郎
- 委員 柿田 賢次
- 委員 伊藤 康浩

坂根印刷